キャラクター名
覡凪 初音（カンナギ ハツネ）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	故16(実年齢12)	性別	男
覚醒	生誕	衝動	吸血	初期侵食率	46 %
出自	フラスコチャイルド	経験	平凡への憧れ	邂逅	親友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	4	0	3		1	8
精神	3	1	0		2	6
社会	0	0	0		1	1

HP	28
行動値	22
(非装備時)	22
戦闘移動	27
全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ゾディアックウェポン	白兵	8r+8	3	11+1D10		侵蝕+2
↑エンチャント		2r				《見えざる死神》
+コンバットフォーカス		2				
+イレーストレース		2r		5		隠密時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
銀なる石：金星	
銀なる石：木星	
統合者	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
実験体	P	N		
无鳴渚(BK)	P 尽力	N 嫉妬		
ベルナール・ブルム	P 誠意	N 嫌気		
屍螺或	P 感服	N 嫌悪		
立科沙紀	P 連帯感	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
黄：ソードマスター	3	3	セット	至近	自身	自動	-	
効果：ラウンド間装備武器使用攻撃達成値+[LV*3]								
陽炎の衣	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：メイン間隠密状態、[LV]回/シーン								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：戦闘移動、エンゲージ無視、[LV]回/シーン								
コンセ：エンジェルハィロゥ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-[LV](下限7)								
光の舞踏	★	2	メジャー	武器	-	-	-	
効果：〈白兵〉を【感覚】で判定								
見えざる死神	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：判定ダイス+1、攻撃力+[LV*3]								
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果：HPダメージ-[LV*5]、1回/ラウンド								
黒：時の棺	★	10+2	オート	視界	単体	自動	100	
効果：判定を失敗にする、1回/シナリオ								
見放されし地	★	-	メジャー	視界	参照	自動	-	
効果：光が遮断された空間を作る								
EF：軽快なる積み荷	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：荷物の重さを相殺する								
効果：								
効果：								
効果：								

※LV+1，DB+3
《陽炎の衣》+《コンセ：エンジェルハィロゥ》《光の舞踏》《見えざる死神》　16dx7+10+12/攻撃力：28+1D10/単体/至近

ウロボロス公表以前にUGN本部の研究所にて「ウロボロスシンドロームに発症」するように作られた個体。偽造としてバロールシンドロームに似た能力を発現するように調整されている。
能力の定着のために核として賢者の石が使用されているが、彼が命を得た時よりその力は失われている。

彼に人権を与えたのは、UGNの創始メンバーの一人であった青年。彼の手により研究所の外に出た。
最初の数年は彼の庇護の下、チルドレンとして訓練を積んでいたが、11(9)年前に起こった研究所の『事故』により管理権が曖昧な状態で3年を無為に過ごす。
その後日本で引き取るという奇特な人物の一声によって日本に渡り、そこで无鳴渚と出会った。

一人称：俺　二人称：お前、あんた　親しい人は下の名前呼び捨て、敬語苦手
あまり細かいことは気にしない性質で、むしろ粗雑なところの方が目立つ。
頭はいい方ではないが、なんでもやらせたらすぐにできるようになる感覚派の天才。
自分の身の内を誰に話したこともないが、彼を引き取った研究者の下には本部や彼を作った研究所でロストしたデータすらも残っているとかいないとか。
自身の中に賢者の石があることから、適合者として選ばれることは当然と思っていたが、親友であり相棒でもある渚もまた選ばれたことに対しては単純な尊敬と、嫉妬の念を抱いている。なおこの感情については本人もよくわかっていない。

《原初の黄：ソードマスター》
无鳴渚の能力を見て模倣したもの。彼がこのエフェクトを持っているわけではないのでオリジナルに近い。

銀なる石：金星